

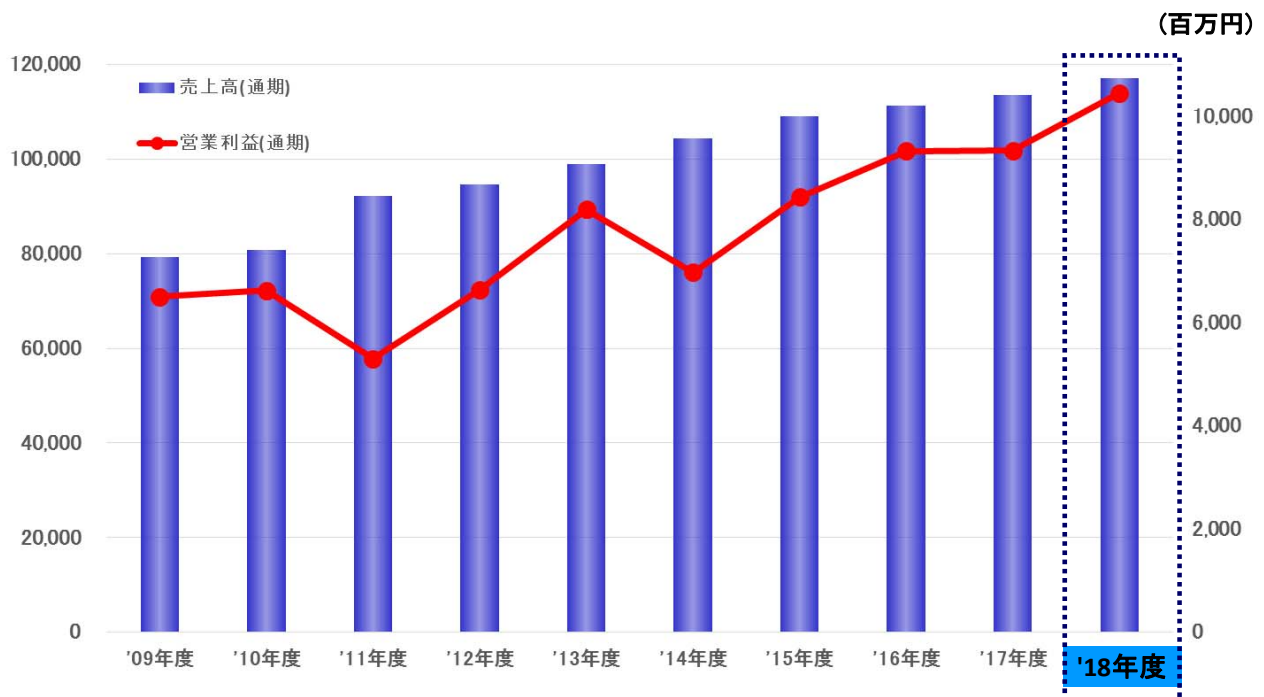
# 株式会社ビー・エム・エル

## 2018年度決算説明会

2019年5月10日  
代表取締役社長  
近藤 健介

## 10年間 業績推移

【売上高・営業利益ともに過去最高を更新】



## 前年度比較表

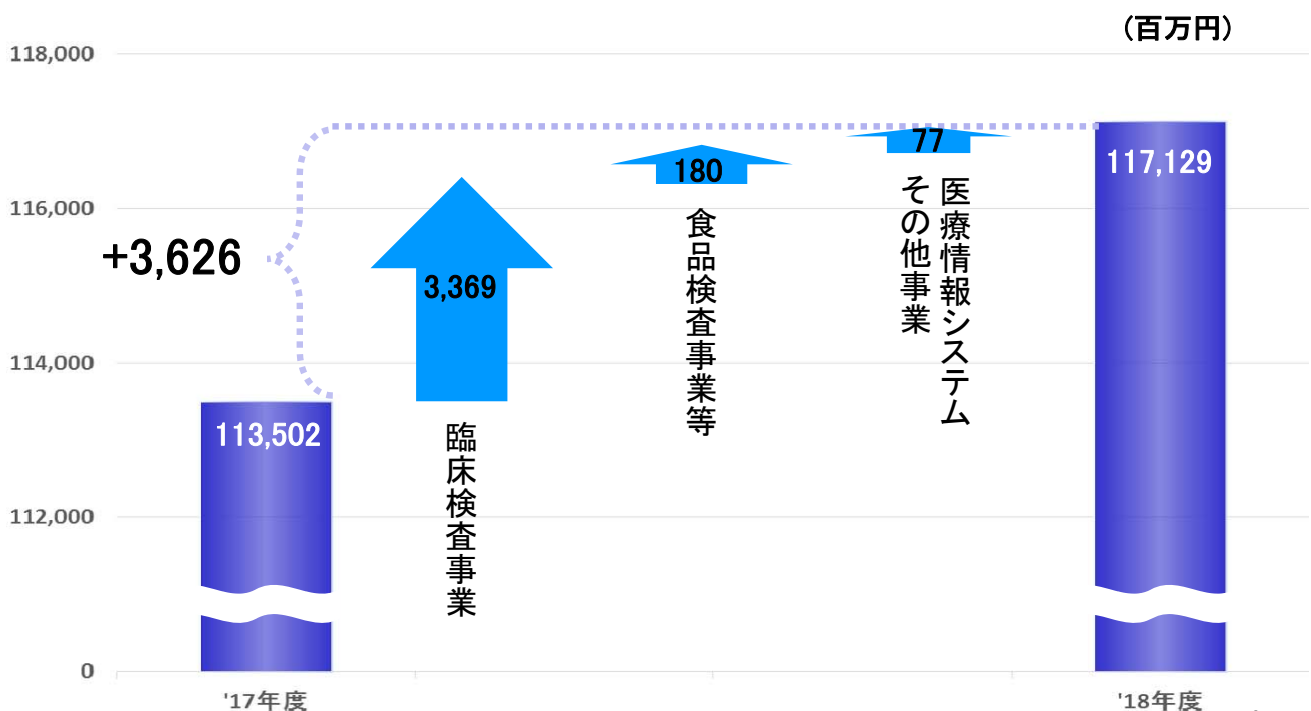
(百万円)

	'17年度	'18年度	増減額	増減率	通期計画	達成率
売上高	113,502	117,129	3,626	3.2%	115,100	101.8%
検査事業	107,765	111,315	3,549	3.3%	109,410	101.7%
臨床検査	103,263	106,632	3,369	3.3%	104,640	101.9%
その他検査	4,502	4,682	180	4.0%	4,770	98.2%
医療情報システム	4,101	4,350	248	6.1%	4,190	103.8%
その他事業	1,635	1,464	-171	-10.5%	1,500	97.6%
営業利益	9,337	10,450	1,113	11.9%	9,550	109.4%
経常利益	9,811	10,880	1,068	10.9%	10,050	108.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,988	6,646	658	11.0%	6,130	108.4%

3

## 事業別売上増減の内訳

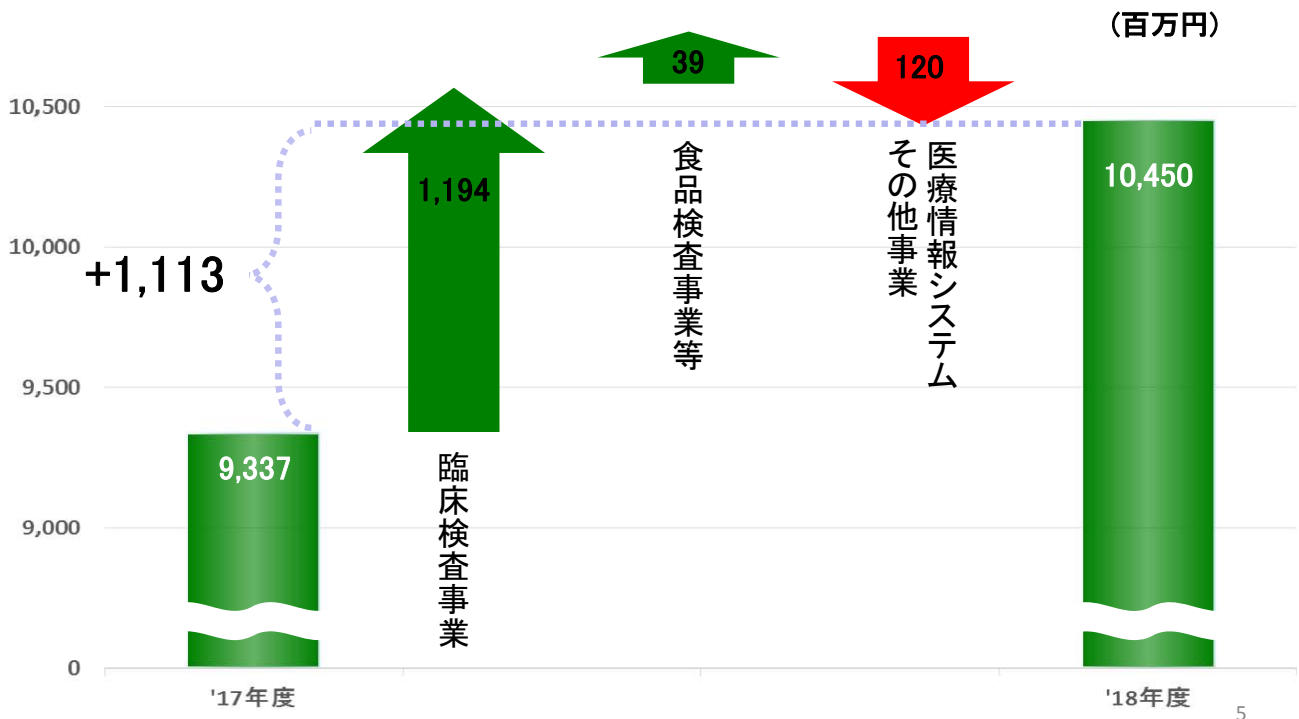
売上高 前期比 36億26百万円(3.2%)増収



4

## 事業別利益増減の内訳

営業利益 前期比 11億13百万円(11.9%)増益

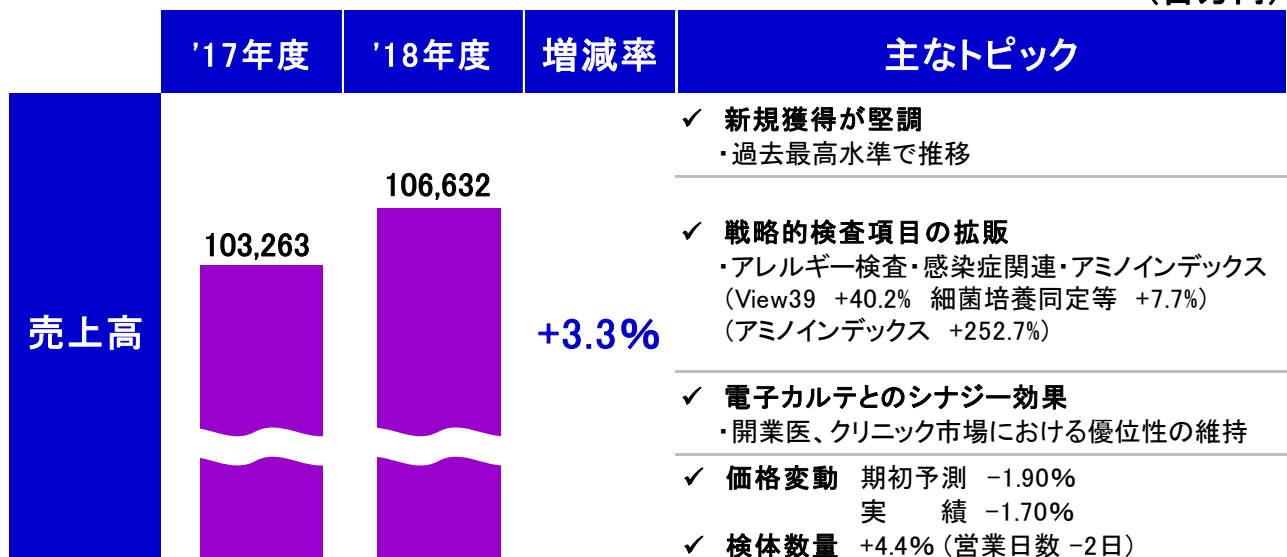


5

## 臨床検査事業の概要

売上高 1,066億32百万円  
前期比 33億69百万円(3.3%)増収

(百万円)

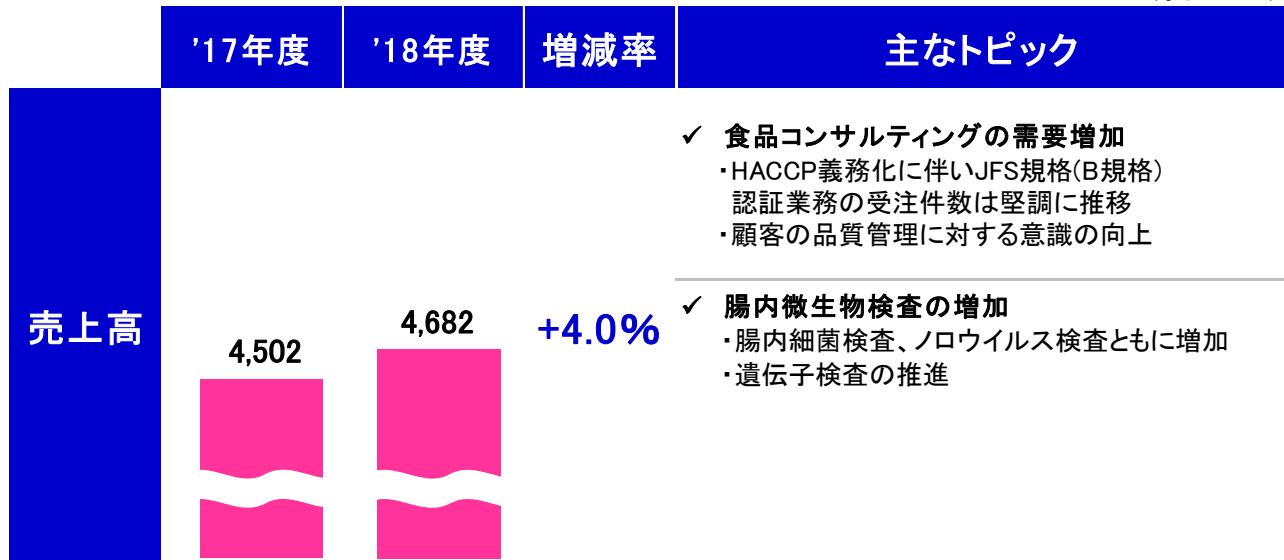


6

## 食品検査事業等の概要

売上高 46億82百万円  
前期比 1億80百万円(4.0%)増収

(百万円)

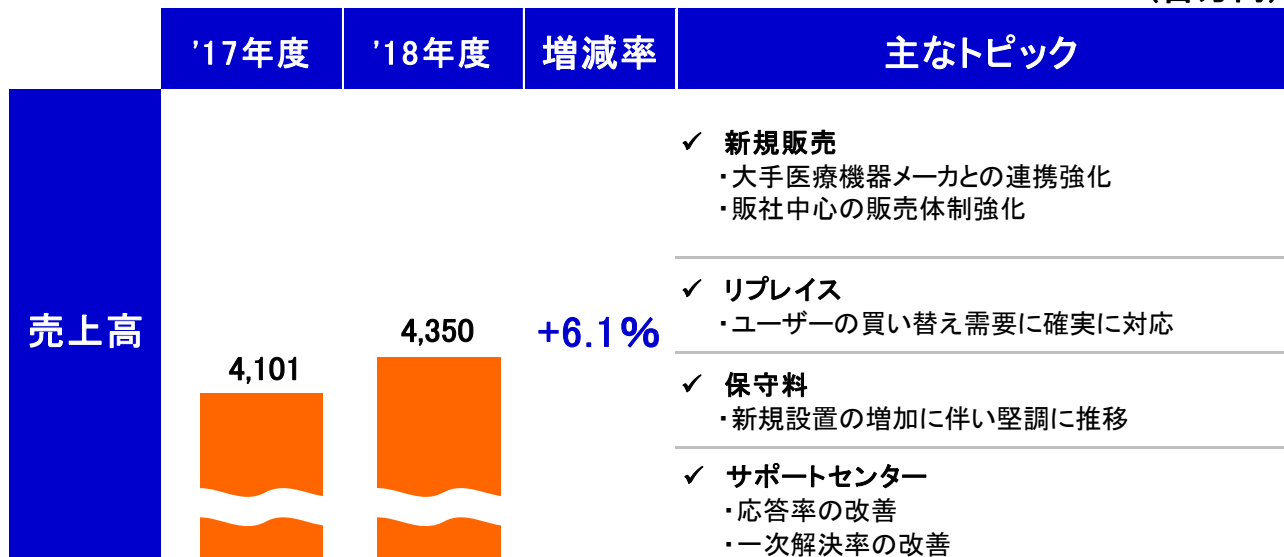


7

## 医療情報システム(電子カルテ)の概要

売上高 43億50百万円  
前期比 2億48百万円(6.1%)増収

(百万円)



8

## その他事業の概要

売上高 14億64百万円  
 前期比 171百万円(10.5%)減収

(百万円)

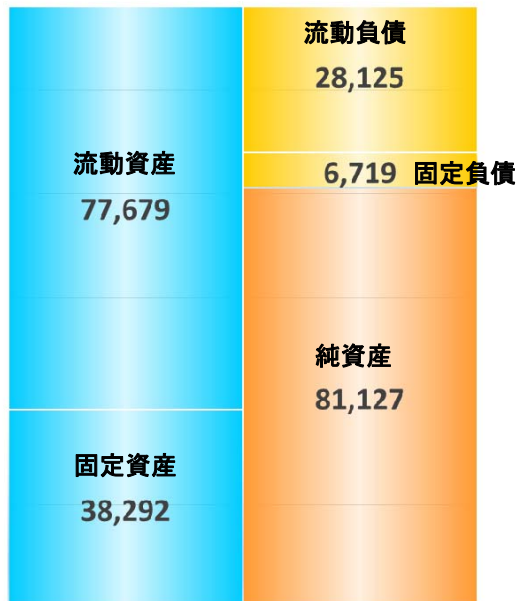


9

## 連結貸借対照表の概要

'18年度末

総資産115,972M  
 (前年末比 6,534M 増加)

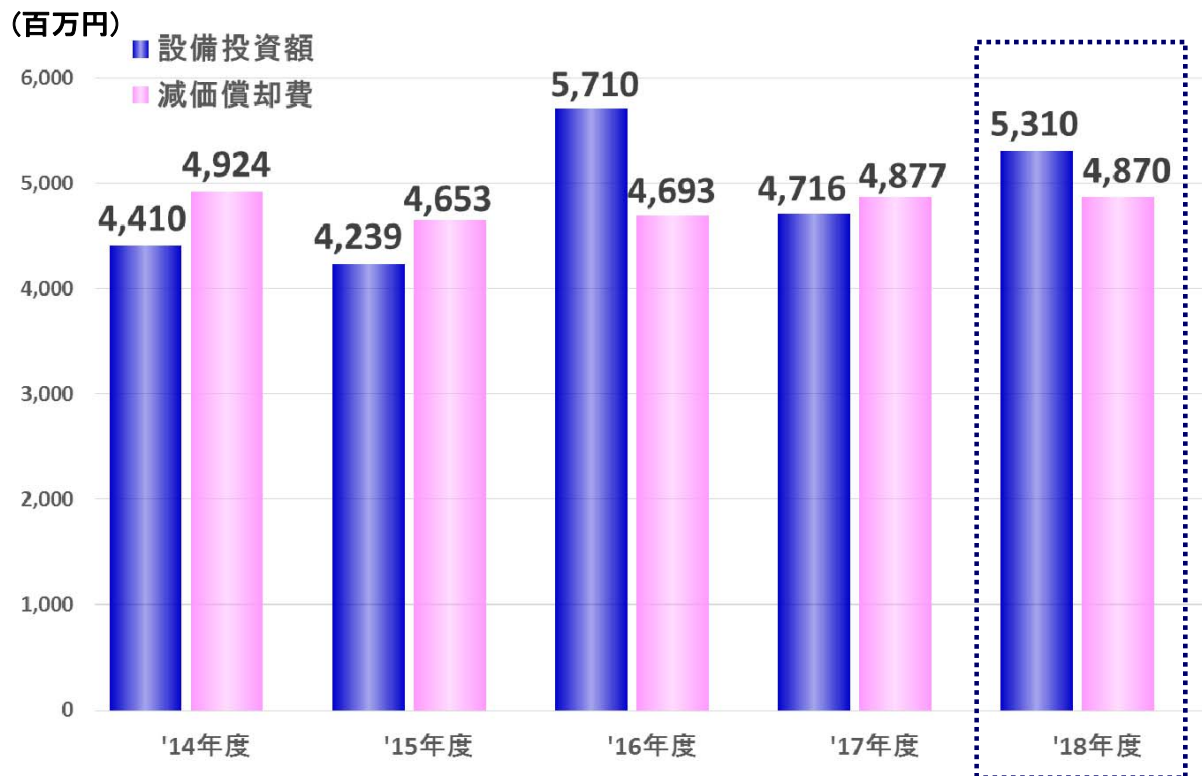


主要な増減要因 (前期末比)

- ✓ 流動資産
  - ・現金及び預金 +5,564M
  - ・受取手形及び売掛金 +1,044M
- ✓ 流動負債
  - ・支払手形及び買掛金 +834M
- ✓ 純資産
  - ・利益剰余金 +5,092M

10

## 設備投資額・減価償却費の概要



11

## キャッシュフローの概要

(百万円)

	'17年度	'18年度	増減
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>12,079</b>	<b>12,507</b>	<b>428</b>
税金等調整前当期純利益	9,774	10,844	1,069
減価償却費	5,019	5,020	0
のれん償却額	312	312	0
法人税等の支払額	-2,991	-3,398	-406
その他	-36	-271	-235
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>-3,538</b>	<b>-3,940</b>	<b>-401</b>
定期預金の預入による支出	-4,314	-4,296	17
定期預金の払戻しによる収入	4,825	4,242	-582
有形固定資産の取得による支出	-2,809	-2,603	206
無形固定資産の取得による支出	-1,345	-1,234	111
その他	105	-49	-154
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>-2,983</b>	<b>-3,042</b>	<b>-57</b>
リース債務の返済による支出	-1,349	-1,357	-7
配当金の支払額	-1,487	-1,554	-66
その他	-147	-130	17
現金及び現金同等物の期首残高	38,122	43,679	5,556
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>43,679</b>	<b>49,204</b>	<b>5,525</b>

12

## 2018年度 中期経営計画の進捗

13

## 2018年度 中期経営計画の進捗

### 『品質・サービスNo.1へ』



#### ✓ 検査システムの統一

- ◇ 岡山医学検査センターの検査システムをBML化
  - 検査可能項目数が同地区で17項目増加
  - 報告日数の短縮

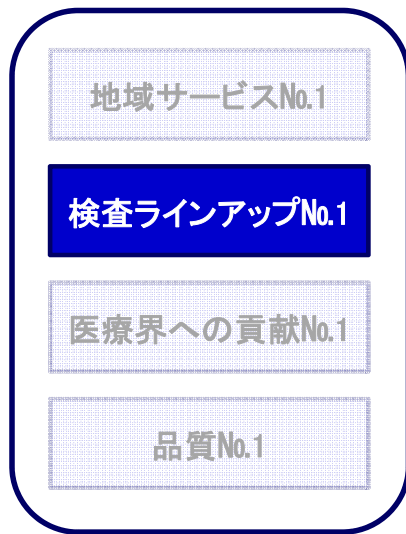
#### ✓ 東海細胞研究所のグループ化

- ◇ 東海地区での病理学的検査の受託能力の増強



14

## 『品質・サービスNo.1へ』



### ✓ 新規受託検査項目の増強

◇ 新規受託開始検査項目 43項目

→ 6項目が独自検査項目

- ・ FH遺伝子変異解析 2018年4月
- ・ KIT遺伝子変異解析 2018年6月
- ・ KIT遺伝子変異解析-GIST 2018年6月
- ・ 若年性発症型両側性感音難聴の遺伝子解析 2018年11月
- ・ マロープラズマ10c 2019年3月
- ・ NUDT15遺伝子V18I多型解析 2019年3月

## 『品質・サービスNo.1へ』



### ✓ ラボラトリーフォーラムの開催地拡大

内 容

- ・ 「標準採血法ガイドライン(GP4-A3)改訂のポイント」
- ・ 「自己血糖測定やPOCT対応機器使用検査時における指先からの正しい採血方法」
- ・ 「神経損傷予防のポイント」
- ・ 「血管迷走神経反射を中心とした採血中の急変対応」

◇ 名古屋・福岡で初開催

トータルサービスマップ  
ラボラトリーフォーラム版





## 『品質・サービスNo.1へ』

地域サービスNo.1

検査ラインアップNo.1

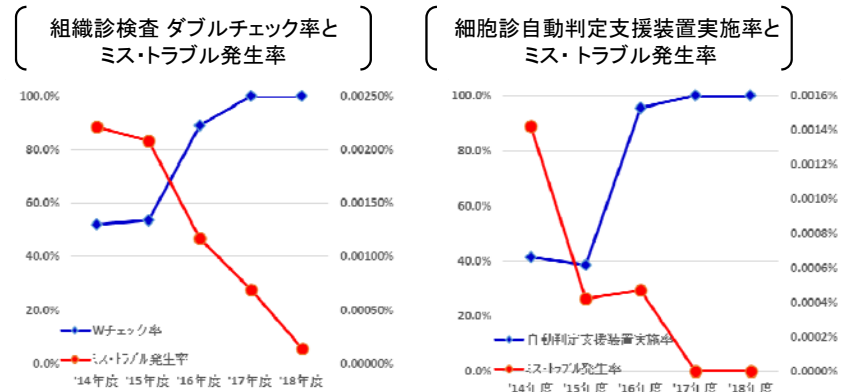
医療界への貢献No.1

品質No.1

### ✓ 検体搬送時の温度管理厳格化

- ◇ 検体集配バッグの改良
- ◇ 温度管理に関するSOP整備

### ✓ 病理学的検査の精度向上



## 『品質・サービスNo.1へ』

地域サービスNo.1

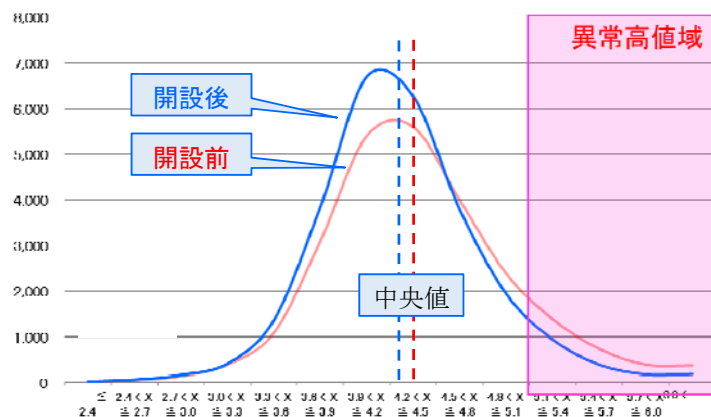
検査ラインアップNo.1

医療界への貢献No.1

品質No.1

### ✓ 血清分離ラボの開設前後比較

→ 分離ラボ開設後血清カリウム値が適正化



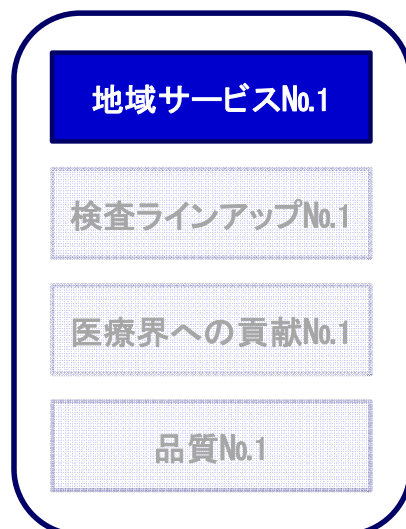
	開設前	開設後
N数	25,069	26,267
中央値(mEq/L)	4.4	4.3
異常高値率	14.0%	8.2%

## 2019年度の事業計画

19

## 2019年度の事業計画

### 『品質・サービスNo.1へ』



#### ✓ 早期報告すべき検査項目の 地域完結型ラボでの実施

##### ◇ 細菌学検査

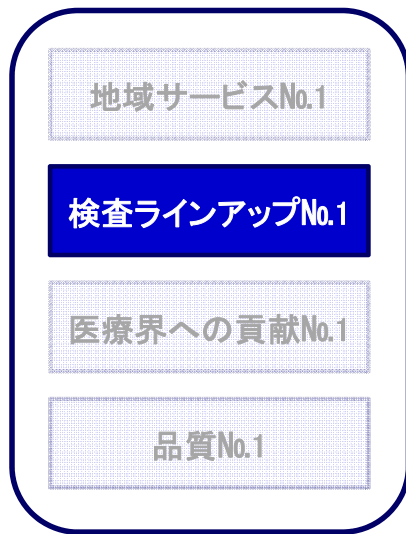
- 報告日数の短縮、検出感度の向上
- ・ 2018年度 北海道地区完了
- ・ 2019年度 関西地区、九州地区完了予定

##### ◇ アレルギー検査

- 報告日数の短縮
- ・ 中四国地区、九州地区完了
- ・ 2019年度 東海地区完了予定

20

### 『品質・サービスNo.1へ』



#### ✓ 新規検査項目の開発

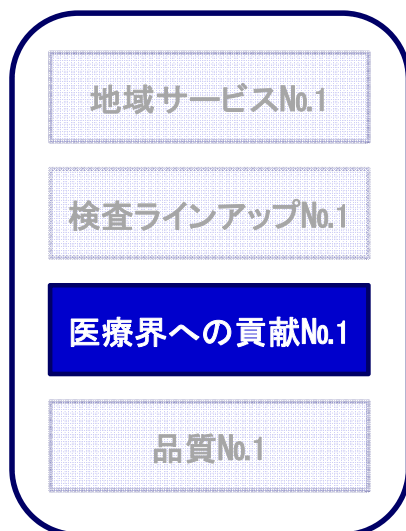
##### ◇ 独自開発検査

- ・ 先天性赤血球形成異常性貧血の遺伝子解析
- ・ 家族性高コレステロール血症の遺伝子解析 (MLPA・保因者検査)
- ・ 骨髄微小残存病変量測定(スクリーニング/モニタリング)
- ・ フローサイトメトリーによる原発性免疫不全症検査

##### ◇ 他社外注項目の内製化

- ・ HHV-6 IgG蛍光抗体法
- ・ HHV-6 IgM蛍光抗体法
- ・ HPV簡易ジェノタイプ
- ・ M蛋白同定
- ・ ラコサミド血中濃度測定
- ・ サイトメガロウイルス抗原 C7-HRP

### 『品質・サービスNo.1へ』



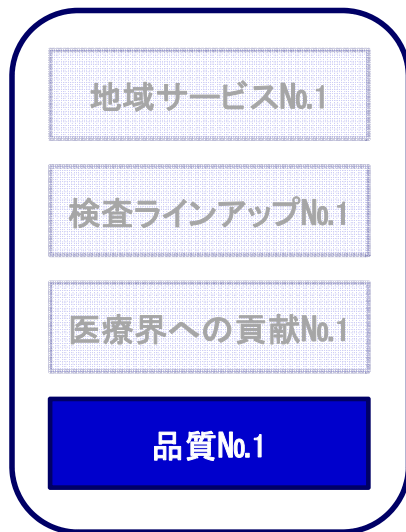
#### ✓ 「AIホスピタル」への参画

(内閣府戦略的イノベーション創造プログラム)

##### ◇ AI技術の支援を取り入れたリキッドバイオプシーによる超高精度がん診断システムの標準化・実装化

1. がんのスクリーニング
2. 術後の腫瘍細胞残存の有無
3. 分子標的治療薬等の選別
4. 再発の超早期診断
5. 抗がん剤治療の効果判定

### 『品質・サービスNo.1へ』



- ✓ 温度管理厳格化
  - ◇ 検査精度の向上
    - 全国の検査室内温度を総合研究所で管理
- ✓ 骨髄像総合報告セット検査の新規受託
  - ◇ 担当医の診断、治療効果判定、再発の早期検知を強力にサポート

### 『品質・サービスNo.1へ』

#### その他

1. クラウド版電子カルテ(Qualis)の販売へ向けた取り組み
  - ◇ 下期より上市に向けたパイロット運用を開始する予定
2. HACCP義務化への対応の強化
  - ◇ 食品事業者の安全基準を周知
    - 食品安全マネジメント協会B規格認定施設として  
認証実績数 No.1の継続

## 『品質・サービスNo.1へ』

### その他

#### 3. 働き方改革への取り組み

◇ 働きがいのある人事制度の構築・運用

→ 同一労働同一賃金への対応・福利厚生充実

◇ 働きやすい労働環境を構築

→ シンプル化の推進・ITを活用した効率化・定例業務の見直し

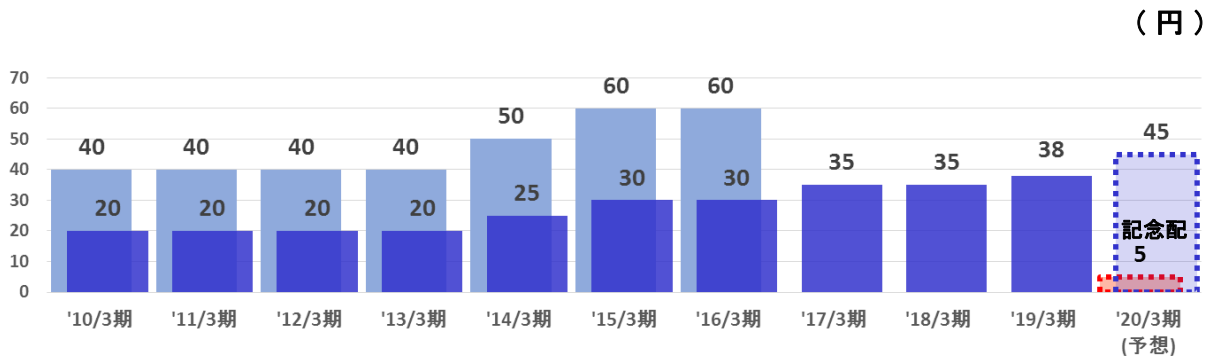
#### 4. RPA (Robotic Process Automation)の導入

◇ 事務作業の効率化

→ 決算連結処理における集計業務・会計データ入力業務

	'18年度	'19年度	増減額	増減率	(百万円)	
					中期経営計画 最終年度	2年目 進捗率
売上高	117,129	120,100	2,971	2.5%	120,950	88.6%
検査事業	111,315	114,000	2,685	2.4%	115,090	85.1%
臨床検査	106,632	108,980	2,348	2.2%	109,700	88.8%
その他検査	4,682	5,020	338	7.2%	5,390	58.3%
医療情報システム	4,350	4,400	50	1.1%	4,370	100.7%
その他事業	1,464	1,700	236	16.1%	1,490	114.1%
営業利益	10,450	10,600	150	1.4%	10,750	89.4%
経常利益	10,880	11,100	220	2.0%	11,200	92.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,646	6,800	154	2.3%	6,750	106.6%

安定配当の維持、継続を基本方針とします



(注) '16年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割をしています。

(注) '20年3月期、期末記念配 5円を含め 45円を予定しています。

**医療界に信頼され  
 選ばれる企業をめざす**  
 品質・サービス **No.1** へ

### ＜将来に関する記述等についてのご注意＞

本資料に記載されている将来に関する見通し、戦略、計画に関する記述等は、当社が現在入手している情報に基づく本資料作成時点での種々の前提に基づいた当社の判断であります。従ってこれらの記述・前提は、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。今後、様々な要因によって記載の見通しと異なる結果を生じえるリスクを含んでいます。また、今後予告なしに変更されることがあることをご了承下さい。